

昇降式駐車設備 AI活用

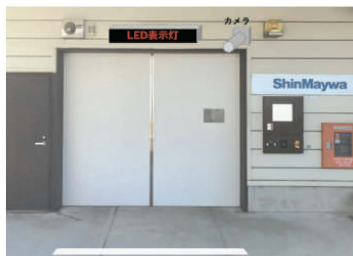
ナンバー新明和、入出庫効率化 瞬時に認識

新明和工業は人工知能（AI）でナンバープレートを認識する業界初のエレベーター方式駐車設備を開発した。車両をカメラで撮影開始後、自動制御技術が入庫させるパレット（車載台）に地上階への移動指令を発するまで手間がかからず、約0・9―1・5秒に短縮できる。数秒から数分かかりリモコン操作や降車による操作も不要。駐車設備の利便性を訴求し、マンションやオフィスビルの開発企業に年間30基の販売を目指す。

初号機を2023年10月に着工し24年4月プレートの有無を判断し、有の場合にプレートを画面として切り出し、変換する。国内ナンバープレート数万枚を機械学習した。画像から文字を読み取れたら、従来の自動制御が収容可能な空きパレットを選び、地上階へ移動させる。

契約客はスマートフォンアプリにナンバー情報などを事

AIは入出庫ドア上部設置のカメラで撮影



▲AIエレベーター方式駐車設備の入出庫ドア（イメージ）

ける二りー（東京都中央区）が協力した。アプリは国土交通相認可機関の車検情報と連携する。ナンバー情報を入力すると車検情報から車両寸法を割り出し、登録駐車設備に入庫できるパレットがあるか即時に分かる。エレベーター方式駐車設備はマンションやビルに設置される。通常は降車して操作盤からパレットを呼び出すか、車内からリモコン操作が必要。操作が煩わしく、時間もかかる課題があった。

21年度のエレベーター方式駐車設備国内新設数は208基で、新明和工業はシェア40%以上でトップ。IHIの運搬機械（東京都中央区）や富士変速機と競